

みなさんにきいてみました。

今回は、各分野で活動している方たちに環境に対しての思いを聞いてみました。
あなたはなにができますか。

倉石 和明さん

長野商工会議所環境エネルギー委員会 委員長



子ども達にこの地球を残すために長野商工会議所環境エネルギー委員会では

②環境問題を他人事ではなく自分自身のこととして捉えていく必要があると思います。そのためには、先ずは我々自身も環境問題について理解し、出来る事から行動に移していくことが重要になってくると思います。

①太陽光やバイオマス等の地域の特性を活かした再生可能エネルギーが普及しエネルギーのベストミックスが図られ、廃棄物の抑制と限りある資源の再資源化に向けた循環型社会が進み、地球にやさしい社会が構築されることを願います。そして、豊かな自然の中で、市街地においてもホテルが飛び交い、子ども達が四季の彩りを感じ取れるような環境が理想です。

③長野商工会議所では、長野商工会議所環境行動計画を作成し、長野市の環境問題に取り組んでいます。中でも、中心市街地での環境保全を通じて環境にやさしい街「長野」を目指し、善光寺東庭園にて、城山小学校の児童と一緒に、毎年6月には、50匹程の蛍が産生し、子ども達を喜ばせています。引き続き、長野商工会議所環境行動計画を会員事業所とともに実行し、中心市街地の環境保全をはじめ温暖化対策等の環境問題に取り組んでいきます。

飯島 美香さん

NPO法人食育体験教室「コラボ」 理事長



子ども達にこの地球を残すためにわたしは

③自然の中で過ごすことが少なくなってきた子ども達に、自然に還る場所や時間を大人と共有し、生きていく事や農と食について一緒に考える活動をできればと思っています。

①人間が生活していく中で、気持ち良いと思える自然環境がある程度残し、自然エネルギーを存分に利用できるような環境づくり。
環境は手入れが必要だと思ふ。何がなんでも残すではなくて、循環型環境を考えて残していくべきだと思ふます。
②人間の住みやすい(生きやすい)環境とは何か？
みんな考えていく必要があると思います。



本道 多加子さん

ながの環境パートナーシップ会議
「太陽エネルギー利用促進チーム」サブリーダー



子ども達にこの地球を残すためにわたしは

①環境、健康、遺伝子に影響のある放射性物質を生み出す原発撤廃。
3・11福島第一原発事故から三年目の冬。子どものことを考えふるさとを離れざるを得なかった方たち。また、自宅を離れることの出来ない多くの方たちを忘れてはならない。日本中の原発は、地震などで何時福島のような事故が起こらないとも限らない。将来ある子どもたちにツケをまわさない環境を残したい。

「トイレなきマンション」をどう処理するのか。前政権の「脱原発」を蔑ろにし、現政権は原発稼働に修正、将来の日本を担う子どもたちの安全を考えているのだろうか？危険極まりない原発は廃炉しかない。市民集会やデモ行進で「ノー」と言える大人を増やし、皆で意思表示していきたい。

③あきらめずに脱原発運動をしながら、持続可能なエネルギーを利用推進。
チームの活動では市民にアピール。イベントや小学校などへ出前講座にも出かけている。原発の電気をなるべく使いたくない理由で、1995年に太陽熱温水器1999年に太陽光発電パネル設置、今も稼働中。炬燵は豆炭。

②原発稼働時から言われている使用済核燃料廃棄物問題

私たちのライフスタイル、スイッチ一つの生活を考え直さなければならぬ。

鎌田 拓平さん

長野青年会議所 青少年育成委員会



子ども達にこの地球を残すためにわたしは

①快適な暮らしが出来る街の中にも自然があり、生活していく中で安らぎを得られる空間がある環境であってほしいと考えます。今は便利になった反面で無味乾燥な街並みとなっているように感じます。もともと自然が街中に溢れかえればあくせくせず住民が気持ちよく過ごしていけるのではないのでしょうか？

③企業が環境に対してどのような取り組みをしているかを良く調べ、なるべく環境に配慮した製品を買っていくようにすること。

②まちの景観を考える際にもつと自然を取り入れる工夫を

